

綿向山

樹氷を見に行く

2016年1月10日(日)天気:晴から曇

メンバー:L磯部 S・藤田・手塚・ハンブルクの星・元会員ざ・料理人・JO(記)

アクセス:桑名インター～石榑トンネル～道の駅奥永源寺溪流の里～綿向山御幸橋
駐車場

1月9日夜、石榑トンネルを過ぎてすぐのところに学校の跡地を改造した新しいタイプの道の駅奥永源寺溪流の里で非会員のざ・料理人と合流し、今までの山の経験談などで話が盛り上がり一夜を共にした。外気温は、 -3°C だったが、テントのなかは、非常に快適だった。最近開設されたばかりでトイレが大変綺麗で、冬季には大変ありがたい温水仕様だった。

1月10日、7時45分に綿向山御幸橋駐車場に到着する。既に5、6台の車があった。駐車場から5分くらいで表参道登山口に到着する。



登山口入口にヒミズ出合小屋があり、小屋の中に登山届を入れるポストがあった。水無山への分岐地点にもなっている。



至るところに標識があり分かりやすい登山道です。



五合目に夢咲の鐘があり無意識に鐘を鳴らしてしまった。小屋の中は、テーブルがあり食事することも可能。何となく北アルプスの船窪小屋の面影があうように感じられる。



夢咲の鐘から滋賀県側の眺望が望めました。



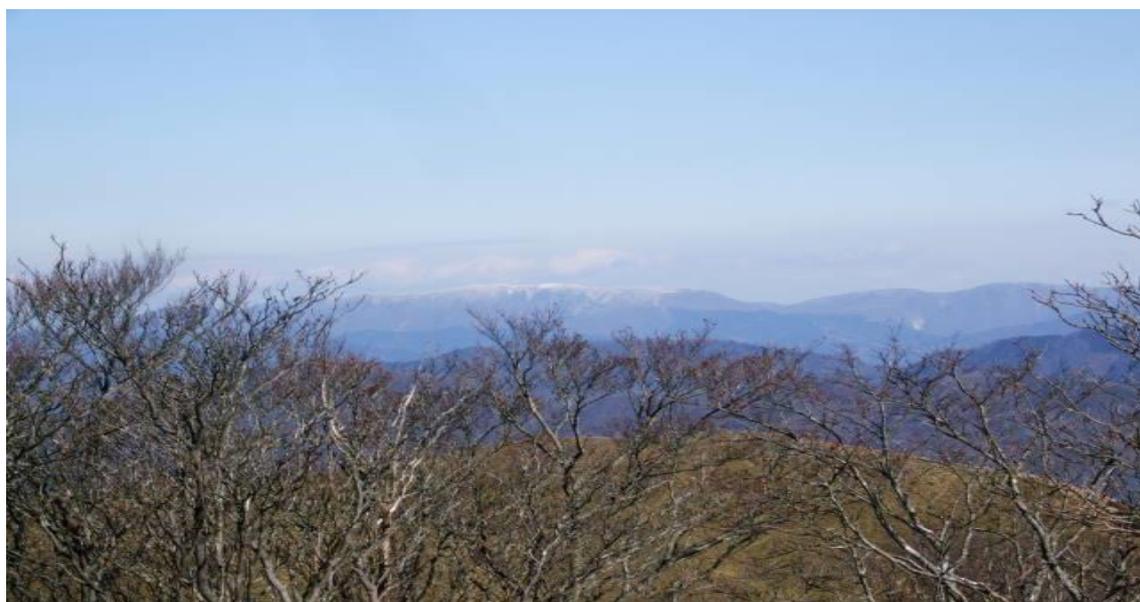
7 合目神社を過ぎたあたりから 1cm~2cmの固まった雪が出始めた。

6 合目~7 合目を過ぎたあたりから針葉樹林帯から広葉樹林帯に日が差し込む明るい登山道となる。また、途中で冬道となるため、8 合目、9 合目の看板は、見られなくなる。

固まった雪が原因で竜王山と雨乞岳分岐前まで滑りやすく登るのに注意が必要だった。分岐後すぐに綿向山頂上に到着した。綿向山は、住民に親しまれている故郷の山として町の活性化に生かそうと標高 1,110m に因んで、11 月 10 日を綿向山の日と制定しました。登山に来られた方に伺ったところ、「11 月 10 日の綿向山の日は、100 名位登山者が来るようで、地元の方に愛された山です。」と回答があった。



山頂は、芝生が敷かれ、気持ちが今までの山頂のイメージを覆した。



綿向山頂上から雨乞岳が望める

綿向山山頂から下って、水無山へ行く途中で日差しがなくなり体が冷えてきた状態となったところに、リーダーが用意して頂いた味噌煮込みうどんが冷えた体を温めた。



食べている最中は、みんな無言でした。おいしく頂きました。

水無山への登山道は、一部崩れて、細くなっていた部分が多く、非常に危険な箇所が多かった。トラロープはあるが、慎重に行く必要がある。



頂上から綿向山山頂の青年の塔がかすかに見えた。

水無山山頂からは、水無山北尾根コースを経てヒミズ出合小屋で登山道入り口に戻った。

(コースタイム)

8:15 綿向山御幸橋駐車場

10:30 綿向山山頂

12:30 表山道 8 合目から水無山分岐(食事休憩 30 分程)

13:15 文三ハゲ

13:40 水無山山頂

15:00 駐車場